

令和5年度第1回川崎市地域包括ケアシステム連絡協議会 グループディスカッションの実施について

1 目的と狙い

川崎市地域包括ケアシステム連絡協議会では、多様な参加者同士の意見交換を通じて地域での連携の可能性を模索し、参加者同士が「顔の見える関係」になり、川崎市の地域包括ケアシステムの担い手として地域でご活躍いただくことを目指しています。

2 実施にあたって

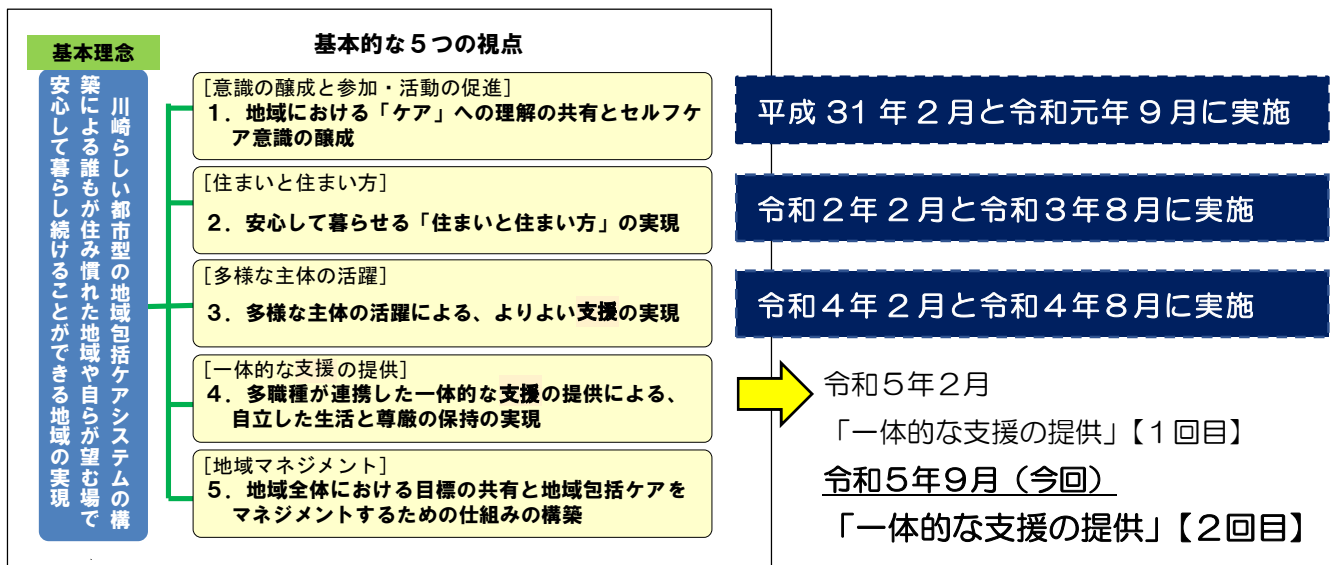
(1) ディスカッションテーマに対する「考え方・視点」や「意見」の集約を行います
自らが地域包括ケアシステムの担い手として、「考え方・視点」や「意見」を出し合います。

(2) 参加者による「全員参加型」で行います

専門職団体、企業、大学、住民団体等、多様な参加者が互いに気後れせず、また対等に話合いに参加できるよう、『自分の立場を考える時間をもつ』・『発言しやすい雰囲気をつくる』・『他人の発言をよく聴く』というルールで話し合います。

3 テーマについて

「地域包括ケアシステム推進ビジョン」の基本的な視点を参考とし、設定することとします。



一体的な支援の提供とは…多職種、多業種が顔の見える関係を構築することや、システム・ルールの整備を行うことで、医療・介護・看護・福祉・生活支援等が包括され、生活スタイルや介護度の変化に応じた継続的な支援を提供すること。

(今回話し合うテーマ)

「人と人をつなぐために、他の企業や団体と連携して何ができるかを考える。」

前回実施した2つの事例検討(①独居高齢者/②高齢の母と障害のある50代の子)において、当事者が望んでいると考えられること等に対する「あるとよい支援やサービス」として「同じ立場の人と悩みを話せる場」や「共通の趣味や同じような環境の人をつなげるサービスや拠点」といった「人とつながれる場所」を挙げたグループが複数ありました。

今回は、各企業・団体が所有している**資源**を出し合い、それらを組み合わせて「カフェ(=地域に暮らす様々な年代・環境の人が集まれる場所)」を作ってみましょう。

資源のイメージ

- 企業等が既に展開しているサービスや商品
- 場所(店舗の一角、事務所の会議室等)
- 知的財産(〇〇に関するノウハウ等)
- 人材(〇〇の資格を持っている職員等)
- 備品・物品(貸出可能な機材、参加者に配ることができる景品・商品等)
- ネットワーク(団体広報紙への掲載、〇〇区にある支店を活用した広報等)

4 実施方法

会場グループ (16:35~17:25/報告 17:25~)

当日、事務局がファシリテーター(進行役)、タイムキーパー、報告者を指定します。指定された方は、その役割をお願いします。ファシリテーターの方は①~⑥の進行をお願いします。

- 16:35~ ① 自己紹介(1人30秒程度):名前、所属、今年一番印象に残っている出来事
- 《前半》
- 16:40~ ② 個人ワーク(5分程度)で、「カフェ」を作るに当たり、御自身の企業や団体が提供できる資源を付箋に記入します。1枚の付箋に1つの資源を簡潔に記入してください。
- 16:55
(目安) ③ グループ内で、1人2~3つずつ順番に発表し、付箋を模造紙の外周に貼ります。あわせて、その資源の概要を簡潔に説明してください。
- 《後半》
- 16:55~ ④ 再度個人ワーク(5分程度)を行います。集まった資源を組み合わせるとどんな「カフェ」が作れるかイメージしてみてください。
- 17:25
(目安) ⑤ ファシリテーターを中心に話し合い、グループで「カフェ」を作ります。まず、ベースとなる場所から決めてみましょう。使用する資源は、模造紙中央の要素別の枠内に移動させてください。なお、グループ内全ての企業・団体の資源を少なくとも1つずつ使用するとともに、1人1回は意見を出すようにしてください。
- また、話し合いの中で、追加で資源を出していただいても構いません。
- ⑥ 「カフェ」のテーマ(名称でも可)を付けてください。(参考:3頁<イメージ>)
- 17:25~ ⑦ 「カフェ」の概要やポイントを、報告者が全体へ報告・発表します。(各グループ2分)



オンライングループ (16:35~17:25/報告 17:25~)

ファシリテーター（進行役 兼 タイムキーパー、報告者）を事前に指名させていただきました。
ファシリテーターの方は①~⑥の進行をお願いします。

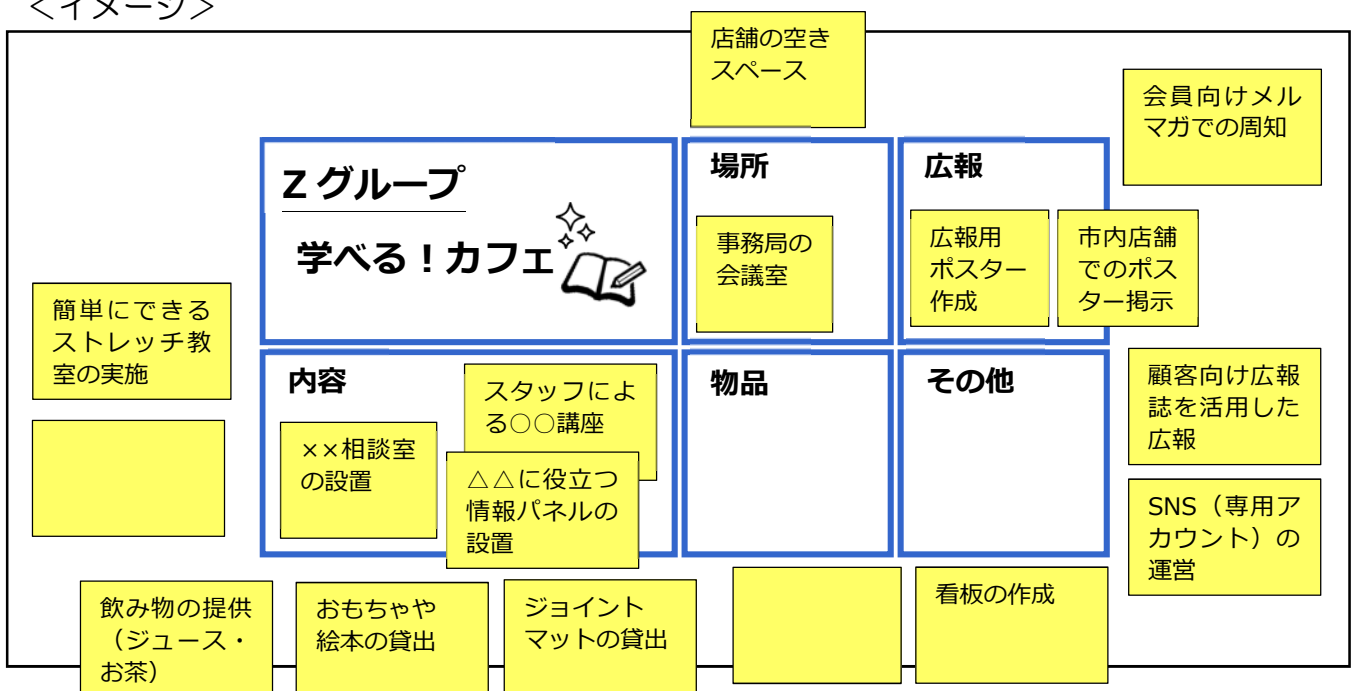
- 16:35~ ① 自己紹介（1人30秒程度）：名前、所属、今年一番印象に残っている出来事
- 《前半》
16:40~ ② 個人ワーク（5分程度）で、「カフェ」を作るに当たり、御自身の企業や団体が提供できる資源を挙げます。
- 16:55
(目安) ③ グループ内で、1人2~3つずつ順番に発表します（書記は委託業者が務めます。）。あわせて、その資源の概要を簡潔に説明してください。
- 《後半》
16:55~ ④ 再度個人ワーク（5分程度）を行います。集まった資源を組み合わせるとどんな「カフェ」が作れるかイメージしてみてください。
- 17:25
(目安) ⑤ ファシリテーターを中心に話し合い、グループで「カフェ」を作ります。まず、ベースとなる場所から決めてみましょう。使用する資源は、書記（委託業者）が中央の要素別の枠内に移動させます。なお、グループ内全ての企業・団体の資源を少なくとも1つずつ使用するとともに、1人1回は意見を出すようにしてください。
また、話し合いの中で、追加で資源を出していただいても構いません。
- ⑥ 「カフェ」のテーマ（名称でも可）を付けてください。（参考：3頁<イメージ>）
- 17:25~ ⑦ 「カフェ」の概要やポイントを、報告者が全体へ報告・発表します。（各グループ2分）

※ 各グループにファシリテーター（進行役）の補佐として行政職員が同席します。

※ 各グループの発表後、座長の田中滋先生から講評をいただきます。

※ 各グループの意見、講評コメントは、後日報告書としてまとめます。グループディスカッションの感想や話さきれなかった意見等がありましたら、アンケートに記入してください。

<イメージ>



<タイムテーブル>

時 間		内 容
16:00~	5分	開会・副市長挨拶、座長挨拶
16:05~ 16:15	10分	川崎市における地域包括ケアシステム構築の取組
16:15~ 16:30	15分	地域包括ケアシステムに関する市内の活動紹介 (発表者) 明治安田生命保険相互会社 川崎支社 次長 石川 隆英 様
16:30~ 16:35	5分	グループディスカッションの流れの説明 テーマ 人と人をつなぐために、他の企業や団体と連携して何ができるかを考える。
16:35~ 16:40	5分	自己紹介 名前、所属、今年一番印象に残っている出来事(1人30秒程度)
16:40~ 17:25	45分	グループディスカッション ●個人ワーク①(5分程度) 「カフェ」を作るに当たり、御自身の企業や団体が提供できる資源を挙げます。 ●前半(10分程度) 1人2~3つずつ、資源を発表します。 ●個人ワーク②(5分程度) 集まった資源を組み合わせるとどんな「カフェ」が作れるかイメージします。 ●後半(25分程度) ファシリテーターを中心に話し合い、グループで「カフェ」を作ります。
17:25~ 17:50	25分	報告 「カフェ」の概要やポイントを報告してください。(各グループ2分)
17:50~ 17:55	5分	講評 座長の田中滋先生から講評をいただきます。
17:55~	5分	閉会・市長挨拶